



ほいくしつだより 2024年7.8月

社会福祉法人ピスティスの会 小規模保育室

2024年度主題 さあ、漕ぎだそう 奏でよう

梅雨が明け、本格的な夏を迎えます。この時期は体力や食欲が落ちたり、睡眠時間も不十分だったりして夏バテしやすい時期です。生活のリズムを整えながら、この夏も元気に乗り越えていきましょう。そして夏ならではの感触あそびや水あそびも、子どもたちにとって楽しい時間となるように安全に過ごしていきたいと思ひます。

先日、連携園で「わくわくワークショップ野のはなマルシェ」が行われ多くの方が参加してくださいました。1階では、人が入れるくらいのカプラを積み上げたり、ドミノに挑戦し保護者の方も積み木を並べるのに夢中になったり、子どもたちは見たこともないような木のおもちゃに触れて興味津々でした。2階、3階では、バザーやマルシェそして普段子どもたちが給食やおやつで食べている、ピラフとゼリーをいただきました。

保護者の方からは「子どもが友だちと遊んでいる姿が見られて嬉しかったです。」

「積み木のコーナーでずっと遊んでしまいました。」等、ご感想もいただきました。保育室の中でも子どもたちがわくわくするようなあそびを考えていきたいと思ひます。



今月の子どもの姿

メダカに小さなエビ、クワガタにカブトムシなど、ちいろば保育室は生き物をたくさん飼っています。今いるカブトムシは去年のカブトムシの子どもです。成長していく様子を毎日子どもたちと観察していると今では角を見て「おんなのこどこだ〜？」と区別がつくようになってきました。「かわいいね」「そっとね」と生き物を育てていく中で優しい気持ちが育まれていることに嬉しく思ひます。

(へいわちいろば保育室)



0歳児のお友だちがマットにごろんと寝転がり遊んでいると、1、2歳児もすぐそばにやってきてガラガラと音の鳴るおもちゃを振ってみたり、いないいないばあをしてあやしてみたり、思いやりを持って接する姿が見られます。時には嬉しそうに笑ってくれ、時には自分の遊びに熱中して気付いてもらえない時もあり、そんな予測できない反応も楽しんで思ひます。(へいわこえだ保育室)

わらべうた紹介

小規模保育室では、わらべうたを通して子どもと触れ合いスキンシップを取る時間を大切にしています。ゆったりとしたリズムや音階に、心地良さを感じることができます。

今回は「うえからしたから」を紹介しします。短くリズムも取りやすいわらべうたなので、子どもたちはあっという間に覚え、保育者や友だちと共に楽しむ姿が見られます。

うえからしたから

♪うえから したから おおかせこい こいこいこい



7月の聖句

「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。」

テサロニケの信徒への手紙一5章16-18節(新約379頁)

8月の聖句

「平和を実現する人々は幸いである。」

マタイによる福音書5章9節(新約6頁)